

inches  
cm

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 8

### Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black

### Kodak Gray Scale

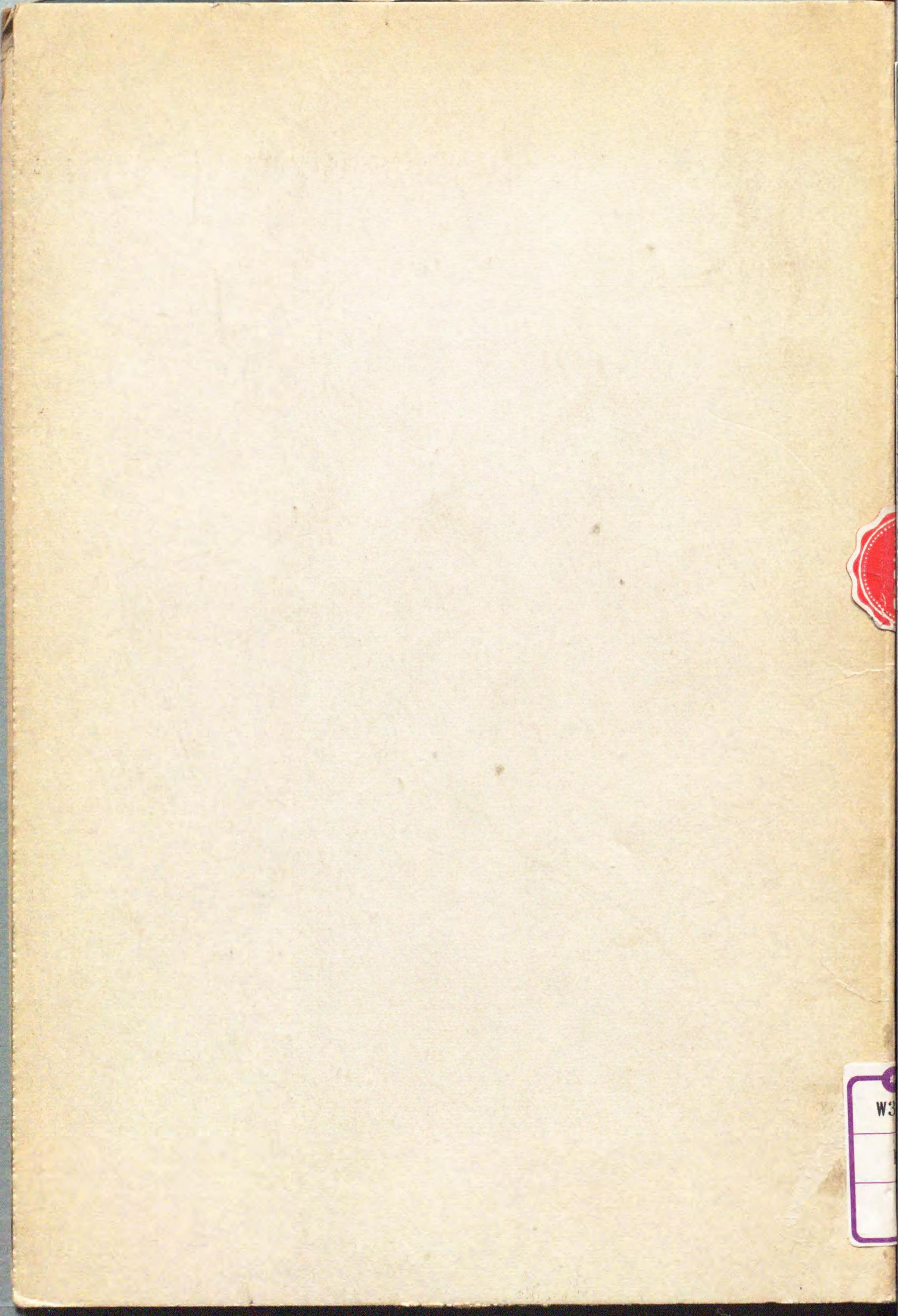
© Kodak, 2007 TM: Kodak



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



W3





和  
第百八十三号

民法假法則

全

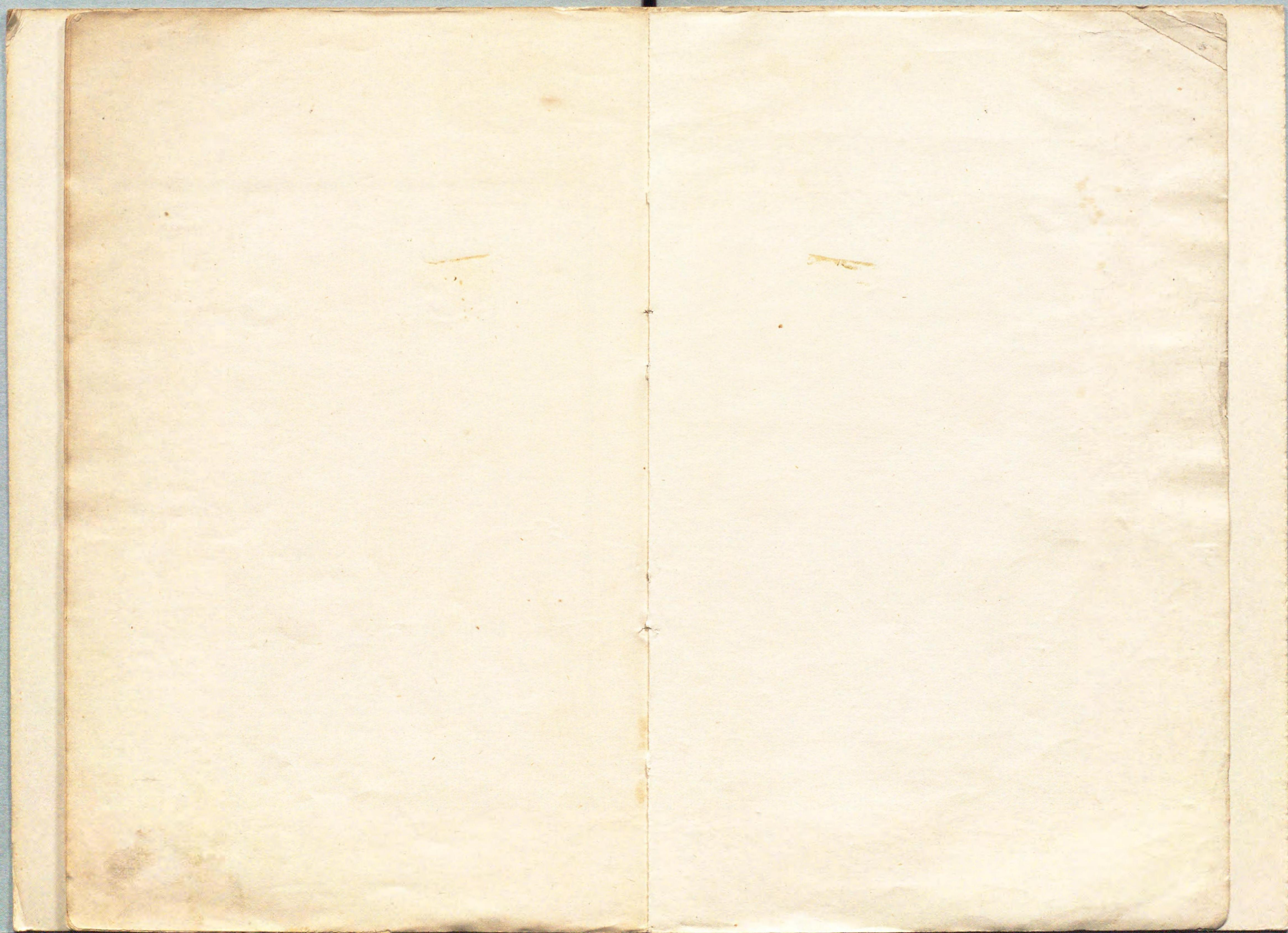
裁判所

40  
49

明治

24







佐賀裁判所  
裁決  
事  
司  
印

前加條目

第一條 法律ハ太政官ノ頒布ニ依リ全國ニ於テ之ヲ施行ス可シ

但シ法律ヲ頒布シ各府縣ニ達スルキ各府縣直ニ之ヲ管下ノ揭示  
場及ヒ區々ニ揭示ス揭示シタル日ヨリ五日ヲ經レハ各管下ノ人  
民皆承諾スルコト看做ス可シ

第二條 法律ハ將來ノコトヲ定ムルノミニシテ之ヲ既往ニ及ス可カ

第三條 國中取締及ヒ安寧ノ事ニ管スル法律ハ日本國內ニ住居スル  
者皆之ヲ遵守ス可シ不動産ハ外國人ノ所有スル物ト雖モ日本ノ法  
ヲ以テ之ヲ支配ス可シ

人ノ身分及ヒ能力ニ付テノ法律ハ國內ニ住居スル者ハ勿論外國ニ

佐賀裁判所



20244

38.3.13

管理換



佐賀裁判所  
裁決事  
拾第

前加條目

第一條 法律ハ太政官ノ頒布ニ依リ全國ニ於テ之ヲ施行ス可シ

但シ法律ヲ頒布シ各府縣ニ達スルキ各府縣直ニ之ヲ管下ノ揭示場及ヒ區々ニ揭示ス揭示シタル日ヨリ五日ヲ經レハ各管下ノ人民皆承諾スルコト看做ス可シ

第二條 法律ハ將來ノコトヲ定ムルノミニシテ之ヲ既往ニ及ス可カ

第三條 國中取締及ヒ安寧ノ事ニ管スル法律ハ日本國內ニ住居スル者皆之ヲ遵守ス可シ不動産ハ外國人ノ所有スル物ト雖モ日本ノ法ヲ以テ之ヲ支配ス可シ

人ノ身分及ヒ能力ニ付テノ法律ハ國內ニ住居スル者ハ勿論外國ニ

佐賀裁判所

20244

38. 3. 13

管理換





住居スル者ト雖モ必ス之ヲ遵守ス可シ

第四條 裁判役若シ法律ノ不備不明等ヲ以テ口實トナシ受理セサル  
キハ其不受理ノ罪ノ訴ヲ受ク可シ

第五條 裁判役ハ己レニ告白セシ訴訟ニ付其事ヲ斷スルヲ得ルト雖  
モ是ヲ以テ一般ノ規則ト定ルヲ得ス

第六條 私ノ契約ヲ以テ國中ノ安寧及ヒ風儀ニ關スル法律ヲ犯ス可  
カラス

### 民法假法則

#### 身分證書

第一卷 身分證書取立ニ付テノ要務

第一條 各組合ニ於テ組頭ニ身分取扱ノ役ヲ兼テシメ即チ出產婚姻  
離縁及ヒ死去ノ證書ヲ殘ラス受取り保存セシムヘシ但シ組合トハ  
各地方ニ於テ便益ヲ同フシ義務ヲ共ニスル者ノ住所ニシテ一村町  
又ハ數村町ヲ合セタル者トス此一組合又ハ數組合ヲ合セタルモノ  
ヲ小區トシ數小區ヲ合セテ大區トシ數大區ヲ合セテ縣トス  
三府及ヒ人民輻湊ノ地ニシテ之ヲ一組合ト爲スト雖モ既ニ之ヲ數  
大區ニ分チアルノ地ニ於テハ各其大區毎ニ身分取扱人一人ヲ置ク  
ヘシ



第二條 各身分取扱人ニ助役一人ヲ付屬ス可シ若シ身分取扱人疾病事故アルキハ助役之レニ代ル可シ

第三條 各地方ノ必用ニヨツテハ裁判所ヨリ右助役ノ外ニ書記一人或ハ數人ヲ置クヘシ右書記ハ證書ヲ記寫スル役ニシテ本書及ヒ公寫ニ押印スルノ權ハ身分取扱人及ヒ助役ノミニ之レアルヘシ但シ本書トハ身分証書ヲ云

第四條 洪水風波積雪等都テノ差支ニ由テ一組合ノ隔リタル兩地ノ間ニ往來ノ危難又ハ不便或ハ往來全ク絶ル時ハ右組合ノ部ニ身分取扱ノ役ヲ當分勤メシメンカ爲メニソノ組合ヲ管轄スル區裁判所ノ所長身分取扱人助役一人ヲ撰任スヘシ右助役ハ其組合ノ部ニ住居シ自宅ニ於テ役ヲ勤ムルヲ得可シ

第五條 前條ニ從テ撰任シタル助役ハ各別ノ簿冊ヲ用ユヘシ此簿冊ハ道ノ往來未タ全ク開ケサル内ニ於テハ年ノ終リニ至リ身分取扱人ニ差出スヘシ往來全ク開クル時ハ之ヲ身分取扱人ニ引渡シ其職ヲ罷ムヘシ身分取扱人ハ第二十二條ニ從テ年ノ終リニ至リ區裁判所ヘ己レノ簿冊ト共ニ之ヲ納ム可シ

第六條 右各條ニ定マリタル役人ノ外ハ何レノ者ト雖モ身分証書簿冊ノ記載或ハ身分證書ノ陳述ヲ承諾スル事ニ關係スルヲ禁ス

第七條 各人民ハ隨意ニ己ノ宗旨ノ禮式ヲ以テ出產婚姻及ヒ死去ヲ吊祝スルヲ得可シ



第二卷 身分證書簿冊及ヒ身分證書ヲ記載スル事

第八條 身分證書ヲ記載ス可キ簿冊ハ民費ヲ以テ毎年十二月十五日迄ニ身分取扱人ニテ調製シ區裁判所へ差出ス可シ但シ右簿冊ハ第廿條ニ於テ定メタル如ク區裁判所ノ所長押印セシ後之ヲ書記局ヨリ身分取扱人へ渡ス可シ

第九條 各年一月十五日迄ニ前年ノ各簿冊ニ記載セル身分證書ノ目錄ヲ各簿冊ノ終リニ書ス可シ但シ右目錄ハイロハノ順序ヲ以テ其姓名ヲ書シ檢出ニ便ニス可シ

第十條 十年目ニ區裁判所ノ書記局ニ納可キ一ツノ簿冊ヲ作り之ニ右十年分ノ諸目錄ヲ合テ寫シ書スヘシ但シ年期ノ都合ノタメ紀元二千五百四十年ニ至リ右總目錄ヲ始メテ作ル可シ

第十一條 身分證書簿冊ノ寫ヲ願出ル者アル毎ニ便利ノ爲メ左ノ手續ヲ以テ遲滞ナク之ヲ渡ス可シ此寫ヲ公寫ト云フ

第一 本年取扱中ノ簿冊ノ寫又ハ組合ノ舊記藏ニ藏メシ簿冊ノ寫ナレハ身分取扱人ヨリ之ヲ渡ス可シ

第二 既ニ區裁判所ノ舊記藏ニ藏メシ簿冊ノ寫ナレハ書記役之ヲ渡ス可シ

第十二條 身分證書ノ記入ハ勿論初度ノ公寫渡シ方モ無賃ニス可シ其後ノ公寫ニ至テハ各金五錢宛納ム可シ

第十三條 身分證書ニハ身分取扱人ノ其證ノ陳述ヲ受ケタル年月日時ト其書ニ記ス可キ人ノ姓名年齢職業住所トヲ記ス可シ

第十四條 身分取扱人ハ其證書中ニ出席ヲ爲シタル者ノ陳述スル所



ノ外何事ヲ論セス註解又ハ説明ノ爲メ記載スルコトヲ得可カラズ  
第十五條 本人ノ自カラ出席スルニ及ハサル場合ニ於テハ別段ノ公  
正ノ證書ヲ以テ任シタル名代人ヲ出スコトヲ得可シ但シ公正ノ證書  
トハ公證人ヨリ渡シタル書ヲ云フ

第十六條 身分證書ノ證人ハ本人ノ親族又ハ其他ノ者タルヲ問ハス  
滿二十一歳以上ノ男ノミヲ用フ可シ但シ其證人ハ本人ノ擇フ所ニ  
從フ可シ

第十七條 身分取扱人ハ其證書ヲ出席ヲ爲シタル者及ヒ證人ニ讀ミ  
聞カス可シ

又其證書ニ其書ヲ讀ミ聞セタル式ヲ行ヒシコトヲ附記ス可シ

第十八條 此證書ニハ身分取扱人ト出席ヲ爲シタル者及ヒ證人トニ

テ其姓名ヲ記シ押印ス可シ

第十九條 身分證書ハ身分取扱役所ニ於テ二冊ノ本書ニ記ス可シ

第二十條 其二冊ノ本書ハ區裁判所ノ所長又ハ所長ニ代ルヘキ裁判  
役其初葉ト冊尾トニ記號ヲ付シ且各葉ノ繼目ニ裁判所ノ印ヲ押ス  
可シ

但シ其初葉ト冊尾トニ記號ヲ附スルトハ初葉ニ初ト書シ其次ニ

二三ト各葉ニ番號ヲ記シ終葉ニ至テ終ト書スルヲ云フ

第二十一條 身分證書ハ其簿冊ニ空行ナク相連接シテ之ヲ記ルシ若  
シ塗抹或ハ書入ノ符號アレハ本文ト同シク之ヲ承諾スルノ証トシ  
テ其姓名ヲ記シ押印スヘシ

第二十二條 身分取扱人ハ年ノ終ニ至ル毎ニ其證書ノ簿冊ニ奥書シ



翌年第一月内ニ其一冊ヲ組合ノ舊記藏ニ藏メ又一冊ヲ區裁判所ノ書記局ニ納ム可シ

但シ奥書ノ式ハ右之通相違無之候以上ノ文ト年月日姓名トヲ記シ押印スヘシ

第二十三條 身分證書ニ添ヘ置クヘキ名代人ヲ任スル證書等ノ書類ハ差出ス毎ニ其差出ス人ト身分取扱人ノ實印ヲ押シ其身分取扱人ニテ之ヲ受取ル毎ニ身分證書ニ添ヘ置キテ年ノ終ニ至リ其儘之ヲ區裁判所ノ書記局ニ納ムヘシ

第二十四條 何人ニ限ラス身分證書ヲ記シタル簿冊ヲ管守スル者ヨリ其簿冊ノ公寫ヲ得ヘシ但シ此公寫ノ其本書ニ違ハヌシテ區裁判所ノ所長又ハ其所長ニ代ルヘキ裁判役ノ確的ナリト爲シタル者ハ

質造ノ訴ヲナス迄ハ右公寫ヲ真正ナリトス

第二十五條 右簿冊ノ未ダアラサルカ又ハ亡失セシ時ハ其本人ヨリ證書又ハ證人ヲ以テ其由ヲ證スルヲ得ヘシ但シ右場合ニ於テ出產婚姻死去ヲ證スルニハ死シタル父母ノ手記シタル書類又ハ證人ヲ以テ證スルヲ得ヘシ

第二十六條 外國ニ於テ記シタル日本人ノ身分證書又ハ外國人ノ身分證書ハ其國ニ於テ用ユル所ノ體裁ニ循ヒ記シタル時ハ之ヲ真正ノモノトナスヘシ

第二十七條 外國ニ在ル日本人ノ身分證書ハ日本ノ公使又ハ領事官日本ノ法ニ循ヒ其陳述ヲ受ケ之ヲ記シタル時ハ適當ノモノトナスヘシ



第二十八條 既ニ簿冊ニ記シタル身分證書ノ端ニ又其身分ニ係ル證  
 ヲ記入スヘキ時ハ其本人等ノ願ヒテ以テ身分取扱人其現今用フル  
 所ノ簿冊又ハ既ニ組合ノ舊記藏ニ藏メシ簿冊ニ之ヲ記入スヘシ又  
 區裁判所ノ書記役ハ既ニ其書記局ニ藏メシ簿冊ニ之ヲ記入スヘシ  
 但シ區裁判所ノ書記局ニ藏メシ簿冊ニ其記入ヲ爲サシムヘキカタ  
 メ身分取扱人ヨリ其裁判所ニ出ツヘキ檢部ニ三日内ニ其報告ヲナ  
 シ其檢部ハ二箇ノ簿冊ニ互ニ同一ノ方法ヲ以テ記入スルコトヲ監視  
 スヘシ

第二十九條 右各條ニ記載スル所ノ官吏等ノ右各條ノ旨ニ背ク事ア  
 ル時ハ區裁判所ヘノ訴訟ヲ受ケ五圓ニ過キサル罰金ノ言渡ヲ受ク  
 ヘシ

第三十條 簿冊ヲ管守スル官吏ハ其簿冊中ニ毀損アル時ハ其損害ヲ  
 償フノ責ニ任スヘシ

但シ他ニ其損害ヲナス者アリテ其官吏ヨリ其者ニ對シ償ヲ求ム  
 ヘキ道理アル時ハ格別ナリトス

第三十一條 身分證書ヲ改正スル事及ヒ其證書ヲ贋造スル事又ハ其  
 證書ヲ零紙ニ記シ及ヒ其證書ヲ記ス可キ簿冊ニ非サルモノニ記シ  
 タル事アルキハ其官吏ヨリ本人ニ對シ其償ヲ出ス可シ但シ刑法ニ  
 記載スル所ノ罰ハ此規則ノ外タル可シ

第三十二條 區裁判所ニ出ツ可キ檢部ハ簿冊ヲ其裁判所ノ書記局ニ  
 納ムル時其簿冊ヲ檢視シ其檢視シタル事ヲ簡易ニ別ノ調書ニ記シ  
 且身分取扱人ノ右簿冊ニ付規則ニ背キ爲シタル過誤輕重罪ト見付



ル毎ニ其官吏ニ對シ罰ヲ言渡ス可キ事ヲ公誦スヘシ

第三十三條 何レノ場合ニ於テモ區裁判所ニ於テ身分證書ノ事ヲ審判シタル時其審判ニ關係シタル者ヨリ其裁判所ノ審判ヲ控訴スルヲ得可シ

第三卷 出產証書

第三十四條 出產アラハ其出產ノ時ヨリ三日内ニ之ヲ其地ノ身分取扱人ニ陳述シ且其身分取扱人ニ其生レタル子ヲ示ス可シ但シ子若シ病アラハ身分取扱人其家ニ至リ之ヲ檢ス可シ若シ出產ノ陳述ヲナサ、ル前ニ其子死スルキハ醫師ノ証書ヲ以テ陳述ス可シ其時モ亦身分取扱人ハ其家ニ至リ之ヲ檢シ出產証書ニ其趣ヲ記載ス可シ  
第三十五條 出產ハ父ヨリ其陳述ヲ爲ス可シ若シ父ノアラサル時ハ内科外科ノ醫師産婆又ハ其他出產ノ時立會ヲ爲シタル者ヨリ之ヲ陳述ス可シ若シ母ノ其住所外ニ於テ出產シタルキハ其出產ヲ爲シタル所ノ者ヨリ陳述ス可シ  
出產証書ハ証人二人ノ面前ニ於テ直チニ之ヲ記ス可シ



第三十六條 出產證書ニハ出產ノ日刻場所其子ノ男女其子ニ命ス可キ名及ヒ其父母ト証人トノ姓名職業住所ヲ記ス可シ

第三十七條 棄兒ヲ見出シタル者ハ其兒并ニ其兒ト同シク見出シタル衣服及ヒ其他ノ品物等ヲ其地ノ身分取扱人ニ引渡シ且其兒ヲ見出シタル時刻ト其場所ノ景狀トヲ陳述ス可シ

身分取扱人ハ此等ノ事ヲ詳カニ調書ニ記シ且其調書ニハ其兒ノ見積年齡其兒ノ男女其兒ニ命ス可キ姓名其兒ヲ引受ク可キ者等ヲ記シ之ヲ簿冊ニ登記ス可シ

第三十八條 航海中ニ出產シタルルルハ父ノ在ルニ於テハ其父ト其乗組人中ヨリ撰ミタル証人二人トノ面前ニ於テ二十四時間ニ出產證書ヲ記ス可シ右證書ハ軍船商船ヲ論セス乗組人ノ姓名簿ノ冊尾ニ

船長之ヲ記ス可シ

第三十九條 右ノ事ヲ爲スノ後日本國內ノ湊ニ初テ碇ヲ卸シタル時ハ右證書ノ寫シヲ其湊ノ身分取扱人へ差出ス可シ身分取扱人ハ父又ハ母ノ本籍ノ身分取扱人へ傳致ス可シ若シ右ノ船外國湊へ着スルルルハ其寫シヲ其國ニ在ル公使又ハ領事官へ出ス可シ右公使又ハ領事官ハ本國外務省へ送り外務省ヨリ本籍ノ身分取扱人ニ達スル爲メ其地方官ニ達ス可シ

第四十條 子ヲ已ノ子ト認ルノ證書ハ之ヲ其認ル日ニ身分證書ノ簿冊ニ記ス可シ又其子ノ出產證書アル時ハ其證書ノ端ニ其旨ヲ記ス可シ



第四卷 婚姻證書

第四十一條 婚姻ヲ行フノ前ニ其届書ヲ一箇ノ簿冊ニ登記スヘシ此簿冊ハ右ノ爲メ身分取扱人ノ記スル所ノ者ニシテ各年ノ終リ毎ニ之ヲ區裁判所ノ書記局ニ納ム可シ

右ノ届書ヘハ夫婦トナラントスル男女ノ姓名職業住所其丁年或ハ幼年ナルコト及ヒ知ルヲ得可キニ於テハ其父母ノ姓名職業住所ヲモ記ス可シ

第四十二條 右届書ノ寫一通ヲ作り十日間之ヲ身分取扱役所ノ門前ニ貼付シ公告ス可シ

此寫書ヘハ之ヲ貼付セシ日付ヲ爲ス可シ

婚姻ハ右ノ十日ヲ歴サレハ之ヲ行フ可カラズ但シ右寫書ヲ貼付セ

シ日ハ算セス

第四十三條 若シ右ノ公告ノ爲メ定メタル十日ノ時間終リシ後一年内ニ婚姻ヲ行ハサル時ハ前條ニ記載シタル法式ヲ以テ更ニ公告ヲ爲サ、レハ婚姻ヲ行フ可カラズ

第四十四條 身分取扱人ハ夫婦トナラントスル男女ヨリ各出産證書ノ公寫ヲ出サシム可シ此法律布告ノ前ニ生レシ者ニ付テハ身分取扱人ハ第七十三條ニ記スル所ニ從ツテ作りタル證書ノ公寫ヲ出サシム可シ

夫婦ノ内出産證書ノ公寫ヲ出スヲ得サル者ハ己レノ生レシ地或ハ住所アル地ノ區裁判所ノ所長ヨリ渡シタル身元證書ヲ以テ之ニ代フルヲ得可シ



第四十五條 身元證書ニハ男又ハ女タル事及ヒ親族又ハ其他ノ者タルヲ問ハス證人七人ヲ用ヒ其證人ノ陳述スル所ト婚姻ヲ行フ可キ者ノ姓名職業住所及ヒ知ルヲ得キ時ハ其父母ノ姓名職業住所且婚姻ヲ行フ可キ者ノ出産ノ地及ヒ知ルヲ得キニ於テハ其出産ノ時ト出産ノ證書ヲ出ス可ハサルノ原由トニ至ル迄ヲ記載ス可シ其證人ハ區裁判所ノ裁判役ト共ニ其身元証書ニ其姓名ヲ記シ押印ス可シ

第四十六條 區裁判所ノ所長ハ願人タル夫又ハ婦ノ實ニソノ出産證書或ハ第七十三條ノ記スル所ニ從ヒ之ニ代用スヘキ證書ヲ出ス可ハサルヤ否ヲ精密ニ取調シ後ナラテハ身元證書ヲ渡ス可カラス

第四十七條 婚姻ハ夫婦ノ中一人ノ住所アル地ニ於テ之ヲ行フ可シ

但シ六ヶ月以上絶ヘス寄留スル處ニ於テモ之ヲ行フヲ得可シ

第四十八條 公告ノ日限相過キシ後雙方談定シタル日ニ身分取扱人ハ其役所又ハ其家ニ至リ雙方ノ親族或ハ他人ニ拘ラス証人四人ノ面前ニ於テ婚姻ノ取極メヲ行ハシム可シ右ノ爲メ身分取扱人ハ先ツ夫婦トナラントスル男女ヲシテ各夫及ヒ婦トスルヲ決意スルトノ陳述ヲ爲サシム可シ且法律ニ循ヒ婚姻ノ取極メヲ行ヒタルノ言渡ヲ爲シテ直チニ其事ヲ婚姻證書ニ記ス可シ

第四十九條 婚姻證書ニ左ノ諸件ヲ記ス可シ

- 第一 夫婦ノ姓名職業年齢出産ノ地及ヒ住所
- 第二 夫婦ノ丁年ナル事又ハ幼年ナル事但シ滿廿一歳以上ヲ丁年ト云ヒ廿一歳未滿ヲ幼年ト云フ



第三 父母ノ姓名職業住所  
 第四 父母祖父母及ヒ親族ノ許諾ノ必要ナル時ハ其許諾  
 第五 各地ノ住所ニ於テ爲シタル公告  
 第六 婚姻ヲ爲ス可キ者ノ互ニ夫婦トナル可キヲ欲シタルコトノ  
 陳述及ヒ官吏ヨリ婚姻ヲ行フ可キヲ言渡シタル事  
 第七 證人ノ姓名年齢職業住所并ニ其証人ハ婚姻ヲ爲ス可キ者ノ  
 親族ニテ本宗又ハ外族タルコト及ヒ何ノ倫序ナルヤノ陳述  
 第五十條 何レノ婚姻ト雖モ身分取扱人ノ面前ニ於テ定リタル法式  
 ヲ以テ行ハサル者ハ不適當ノモノトス不適當ノ婚姻ニ因リ生レタ  
 ル子ハ贈遺ヲ受ルノ權ナカル可シ

第五卷 離縁證書

第五十一條 離縁ヲ欲スル夫婦ハ身分取扱役所へ出テ身分取扱人ハ  
 証人四人ノ面前ニ於テ離縁證書ヲ記載セサレハ離縁ヲ行フヲ得ス  
 但シ離縁ヲ同意スル夫婦或ハ同意セサルニ因テ裁判所ヨリ離縁ノ  
 言渡ヲ受クル夫婦モ本條ノ式ノ如クス可シ  
 第五十二條 離縁證書ニ左ノ件々ヲ記載ス可シ  
 第一 夫婦ノ姓名職業年齢出産ノ地及ヒ住所  
 第二 婚姻ヲ行ヒシ年月日及ヒ場所  
 第三 其子ノ姓名年齢男或ハ女タル事  
 第四 離縁セシ後子ヲ預ケ可キ者  
 第五 離縁ヲナス可キ者ノ互ニ離縁ス可キヲ欲スル事ノ陳述



第六 離縁セシ後夫婦各住所トス可キ場所

第七 證人ノ姓名年齢職業及ヒ住所

第五十三條 離縁セシ夫婦ノ婚姻証書ノ端ニ離縁セシコトヲ畧記ス可シ右ノタメ身分取扱人ハ離縁證書ノ公寫一通ヲ元婚姻ヲ行ヒシ區裁判所ノ檢部ニ差遣ス可シ檢部ハ身分證書ノ二冊ノ簿冊ノ端ニ離縁ヲ畧記スルコトヲ監視ス可シ

第六卷 死去證書

第五十四條 埋葬ハ身分取扱人ヨリ渡シタル免狀ヲ得ルノ外之ヲ爲ラ得ス身分取扱人ハ死去ヲ檢ス可キ爲メ死者ノ所ニ至ル可ク且死去ノ後傳染病ニテ死セシ者等取締ノ規則ニ於テ定タル場合ノ外ハ二十四時ヲ經ルニ非サレハ其免狀ヲ渡ス可カラス

第五十五條 死去證書ハ証人二人ノ陳述スル所ニ從ヒ身分取扱人之ヲ記ス可シ

其二人ノ證人ハ親族又ハ近鄰ノ者ヲ得ルニ於テハ之ヲ用フ若シ又住所外ニ於テ死去シタル時ハ其一人ハ死去シタル家ノ者又一人ハ死者ノ親族或ハ其他ノ人ヲ用フ可シ

第五十六條 死去證書ニハ死者ノ姓名年齢職業住所及ヒ死者ノ現ニ



婚姻ヲ結ヒタル者又ハ既ニ鰥寡トナリシ者タル時ハ其夫又ハ婦ノ姓名ト陳述者ノ姓名年齢職業住所及ヒ其陳述者ノ死者ノ親族ナル時ハ其倫序トヲ記ス可ク且此証書ニ死者ノ父母ノ姓名職業住所ト其死者ノ出産ノ地トヲ知ルヲ得ルニ於テハ亦之ヲ記ス可シ

第五十七條 兵病院及ヒ尋常病院又ハ其他公ケノ建造所等ニ於テ死去シタル者アル時ハ其家屋ノ主者又ハ支配人所有者ヨリ二十四時間ニ其事ヲ其身分取扱人ニ報告シ其身分取扱人ハ死去ヲ檢ス可キ爲メ其家屋ニ至リ己レノ聽得タル其陳述ノ詞ト己レノ檢査シタル所ノ條件トニ從ヒ前條ニ記載シタル所ノ如ク死去ノ証書ヲ記ス可シ

其病院及ヒ公ケノ建造所ニ於テハ其陳述及ヒ檢査ノ諸件ヲ登記ス

可キ簿冊ヲ設ケ置ク可シ其身分取扱人ハ死者ノ最終ノ住所ノ身分取扱人ニ其死去ノ証書ヲ送達シ其身分取扱人ハ此証書ヲ身分証書ノ簿冊ニ登記ス可シ

第五十八條 變死ノ徵アル時又ハ變死シタルコトヲ思察スヘキ模様アル時ハ取締ノ官吏内科外科ノ醫師ノ助ケヲ受ケ死体ノ形狀及ヒ之レニ關シタル模様ト死者ノ姓名年齢職業出産ノ地住所等ニ付檢査シタル諸事トヲ調書ニ記シタル後ニ非レハ埋葬ヲ爲ス可カラヌ

第五十九條 其取締ノ官吏ハ其人ノ死シタル地ノ身分取扱人ニ直チニ其調書ニ記シタル諸件ヲ報告シ右身分取扱人ハ此調書ニ從テ死去ノ証書ヲ記ス可シ

右身分取扱人死者ノ住所ヲ知得タル時ハ其住所ノ身分取扱人ニ死



去ノ證書ノ公寫一通ヲ送達ス可シ但シ其身分取扱人ハ其公寫ヲ身分證書ノ簿冊ニ登記ス可シ

第六十條 罪人ヲ死刑ニ處セシ時ハ其時ヨリ二十四時間ニ刑法裁判所ノ書記役ヨリ死刑ヲ行ヒシ地ノ身分取扱人へ第五十六條ニ記載セシ所ノ諸件ヲ検査シタル書ヲ送達シ其地ノ身分取扱人ハ其書ニ從テ死去ノ證書ヲ記ス可シ

第六十一條 獄舎懲役場等ノ内ニ於テ死シタル時ハ其係リ役人ヨリ直チニ身分取扱人ニ死去ノ事ヲ報告ス可シ其身分取扱人ハ第五十五條ニ記載セシ所ノ如ク其死去ノ所ニ至リテ死去證書ヲ記ス可シ

第六十二條 變死又ハ獄舎懲役場等ノ内ニ於テ死去シ及ヒ死刑ニ處セラレシ者アル時ハ此等ノ事ヲ簿冊ニ記サス唯第五十五條ニ記載

シタル法式ヲ以テ死去證書ヲ記ス可シ

第六十三條 航海中死去シタル時ハ船長ヨリ撰ミタル証人二人ノ面前ニテ二十四時間ニ死去證書ヲ記ス可シ右證書ハ軍船商船ヲ論セス乗組人ノ姓名簿ノ冊尾ニ船長之ヲ記ス可シ

第六十四條 右ノ事ヲ爲スノ後日本國內ノ湊ニ初テ碇ヲ卸シタル時ハ右證書ノ寫シヲ其湊ノ身分取扱人へ差出ス可シ右身分取扱人ハ死去セシ者ノ住所ノ身分取扱人へ傳致ス可シ若シ右ノ船外國湊へ着スルキハ其寫ヲ其國ニ在ル公使又ハ領事官へ出ス可シ右公使又ハ領事官ハ本國外務省へ送り外務省ヨリ死去セシ者ノ本籍ノ身分取扱人ニ達スル爲メ其地方官ニ達ス可シ



第七卷 身分證書ノ改正及ヒ遺漏ヲ記入スル事

第六十五條 身分證書ヲ改ム可キノ願ヲ爲ス者アル時ハ其所轄ノ裁判所ニ於テ裁判役ハ檢部ノ意見陳述ヲ聽問シ其改正ノ言渡ヲ爲ス可シ但シ此裁判所ノ言渡ニ服セサル者ハ更ニ其上ノ裁判所ニ訴出ルコトヲ得可シ

其身分證書改正ノコトニ付キ掛リ合數人ノ者ヲ呼出ス可キノ理アル時ハ之ヲ呼出ス可シ

第六十六條 何レノ時ト雖モ身分證書ニ付掛リ合人ノ中之ヲ改ルコトヲ願ヒ出テス又ハ之ヲ改ムルニ付キ右掛リ合人ノ中呼出シヲ受ケサル者アル時ハ其書ヲ改ムルノ言渡ヲ強テ右ノ者ニ對シ行フコトヲ得ス

第六十七條 身分證書ヲ改ム可キ裁判言渡書ハ身分取扱人之ヲ受取リタル後直チニ身分證書ノ簿冊ニ登記シ且其由ヲ元ノ身分證書ノ端ニ畧記ス可シ

第六十八條 身分證書ハ法律ニ定タル時間ニ簿冊ニ書入レサリシ時ハ第六十五條ニ記載シタル如ク區裁判所ヨリ言渡シタル裁判ニ由ラサレハ簿冊ニ記入スルヲ得ス



第八卷 皇族身分証書

第六十九條 皇族ノ身分証書ハ二冊ノ簿冊ニ記載ス可シ右ノ簿冊ノ初葉ト冊尾トニ宮内卿ヨリ記號ヲ附シ各葉ニ其實印ヲ押ス可シ但シ第二十條ヲ見合ス可シ

第七十條 右身分証書ハ宮内大丞一人宮内卿ノ命ニ依リ定式ヲ以テ之ヲ記載ス可シ

第七十一條 右身分証書ハ簿冊ノ終リマテ連接シ記載スヘシ右簿冊ハ書終リシ後宮内卿コレニ第廿二條ノ但書ノ式ヲ以テ奥書シ其一冊ハ太政官ノ内史ニ納メ其一冊ハ左院ニ納ム可シ

第九卷 布告前ニ係ル身分証書ヲ取立ル事

第七十二條 此法律ノ布告前ニ係ル日本國民ノ身分証書ヲ取立ンカダメ各組合ニ於テ已ニ過キシ百年内ヲ毎十年ニ區分シ二冊宛ノ簿冊ヲ作ル可シ

第七十三條 此ノ法律布告シタル後六ヶ月内ニ丁年ノ日本人各己レノ出產證書ヲソノ出產ノ年ノ簿冊ニ記載セシム可シ右證書ハ第三十六條ノ式ニ從ヒ成ヘク丈ケ細密ニ記載ス可シ右出產證書ハ出產地ノ身分取扱人ニテ證人ノ面前ニ於テ之ヲ記載ス可シ身分取扱人ハ各人陳述ノ眞偽ヲ正サンカ爲メ從前ノ人別帳ヲ以テ之ヲ比較ス可シ

第七十四條 幼年ノ者ノ出產ノ陳述ハ其父之ヲ爲シ其父アヲサル時



ハ其母之ヲ爲シ又權ヲ削奪サレタル者ト孤子トハ後見人之ヲ爲シ  
隱居人ハ其相續人之ヲ爲シ病院或ハ牢獄ニ入りタル者ノ爲ニハ右  
病院或ハ牢獄ノ支配長之ヲナス可シ

第七十五條 何レノ人ニテモ己ノ出產證書ヲ期限六ヶ月内ニ記載セ  
サレハ婚姻ヲナシ養子取組ヲ爲シ遺囑ノ贈遺ヲナシ無金ニテ贈物  
ヲ受ルヲ得ヌ又裁判所ニ於テ證據ヲ立ルヲ得ス

第七十六條 此法律布告以前百年ヲ毎十年ニ區分シ各組合ニ於テ二  
册宛ノ簿册ヲ取立テ百年内ニ取結ヒシ婚姻ハ悉ク之ニ記ス可シ

第七十七條 此ノ法律布告ノ後六ヶ月ノ間ニ寡夫及ヒ離縁セシ者ノ  
外都テ夫タル日本人ハ其婚姻證書ヲ記セシム可シ此證書ハ夫婦及  
ヒ證人二人ノ面前ニテ記載シ且ツ左ノ件々ヲ述可シ

第一 夫婦ノ姓名職業年齢出產ノ地及ヒ住所

第二 夫婦ノ丁年ナルコト又ハ幼年ナル事

第三 夫婦ノ父母存命ナルニ於テハ其姓名職業及ヒ住所

第四 婚姻ヲ取行セシ年月日

第五 右婚姻ヨリ生レテ存命スル子ノ年齢及ヒ男女タル事

但シソノ子ハタトヘ既ニ他人ノ養子ト成リシ者ト雖モ本文ニ  
同シ

第七十八條 右百年期限ノ間ニ結ヒタル何レノ婚姻モ右六ヶ月ノ時  
間ニ記載セサレハ其詮ナキニヨツテ子孫相續等民法上ニ付テ成功  
アル可カラス

第七十九條 若人ソノ生レシ場所ノ外或ハ婚姻セシ場所外ニ住居シ



或ハ寄留スル節ハ其住所或ハ寄留所ノ身分取扱人紙葉一枚ニ身分証書ヲ記シ生レシ地或ハ婚姻ナセシ所ノ身分取扱人ヘ之ヲ傳致スヘシ身分取扱人ハ之ヲ直チニ己レノ簿冊ニ其年ノ次第ニヨツテ記ス可シ

第八十條 若シ其人或ハ後見人等右第七十三第七十四及ヒ第七十七條ニ定メタル所ノ式ヲ行ハサル時第七十七條ニ定メタル時間ヲ過ルニ於テハ一日ニ付廿五錢ヨリ少カラス三圓ヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第八十一條 日本國外ニ在ル日本人ハ第七十七條ニ定メタル六ヶ月ノ時間ヲ其歸國ノ日ヨリ算ス可シ

第八十二條 此法律ニ定メタル六ヶ月ノ時間終リシ後一ヶ月ノ間ニ

簿冊ヲ各組合ニ備置キ人民ノ隨意ニ之レヲ閱見スルヲ得セシム可シ

第八十三條 右一ヶ月ノ時間終リシ後簿冊ニ記シタル証書ニ付異存ノ故障之レ無キ時ハ身分取扱人ハ各証書ノ端ニ異論ナシトノ文ヲ記ス可シ右端書シタル証書ハ後日ノ証トナス可キ者トス

第八十四條 右一ヶ月ノ時間ニ其簿冊ニ記シタル証書ノ内一書ヲ改正スル事ヲ願フ者アル節ハ身分取扱人ハ右証書ノ端ニ異論アリトノ文ヲ記ス可シ

右改正ノ願ハ異論アル証書ノ本人ノ住所ノ區裁判所ヘ訴フ可シ裁判役ハ右証書ヲ記ス可キノ文言ヲ定ム可シ身分取扱人ハ檢部ヨリ受取タル裁判言渡書ノ寫ヲ見認シ後之ヲ証



書ノ端ニ記ス可シ

第八十五條 此法律布告ノ後十ヶ月ノ間ニ出產婚姻ノ証書ヲ記ス可シ又之ヲ改正スヘキノ場合ニ於テハ其改正書ヲ殘ラス記ス可シ若シ怠惰ニ由テ記載スルヲ延引セシ身分取扱人ハ右期限ヲ過レハ一日ニ付五十錢ヨリ少カラス六圓ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル可シ但シ其証書ニ關スル者ヨリ願ヲ得ヘキ損害賠金ハ此規則ノ外タル可シ

第八十六條 右二冊ノ簿册一ハ組合ノ舊記藏ニ藏メ一ハ區裁判所ノ舊記藏ニ藏ム可シ

第八十七條 右簿册ヲ藏メシ後日本國外ニ在ル日本人ノ身分證書ヲ之ニ書入ルヘキコアル時ハ其簿册ヲ預ル者之ヲ爲スヘシ

第八十八條 裁判所取立之レナキ地方ニ於テハ地方官身分證書ノ事ニ付裁判所ノ代リヲ爲ス可シ



~~40~~  
~~49~~

W324.02  
M147

昭和38年  
第 4421 號  
3月13日



最高裁判所図書館

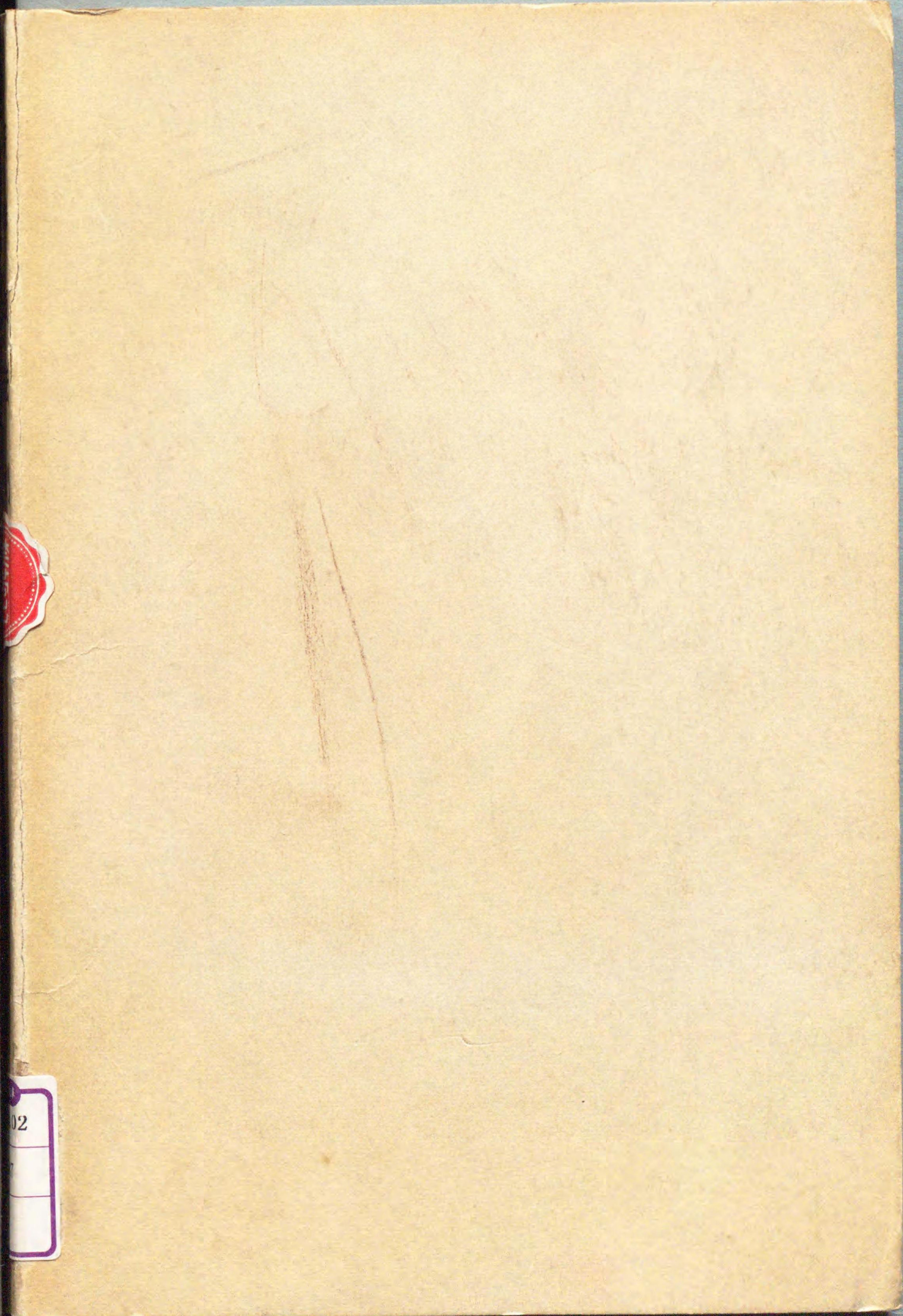


000126919



文庫  
62





Inches 1 2 3 4 5 6 7 8  
cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

### Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak



### Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

